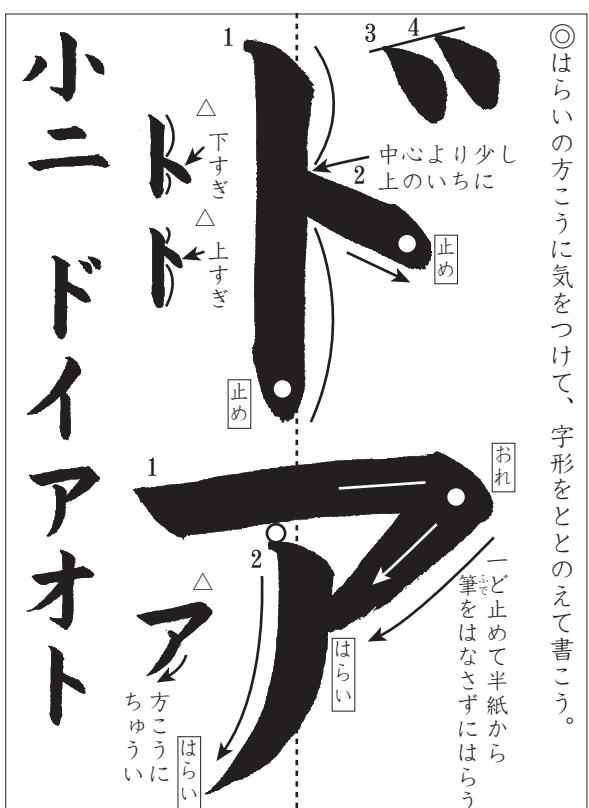


幼児・小一

光野 美香

小一

見方 弘子



◎斎藤茂吉（一八八二～一九五三）歌人
『あらたま』より

朝あけて
船より鳴れる太笛の
こだまはながし

並みよらふ山玄太書

高 大 中 学 年 級	高 大 一 般	現 段 級	秀 級	段	氏 名
六 段					山並玄太

高・大・一般（行・草書と仮名）

米本 美雪

朝あけて
船より鳴れる太笛の
こだまはながし

なが
並みよらふ山玄太

高 大 中 学 年 級	高 大 一 般	現 段 級	秀 級	段	氏 名
六 段					山並玄太

行書体作品例

高 大 中 学 年 級	高 大 一 般	現 段 級	秀 級	段	氏 名
六 段					馬場恵子

- ◎行脈が↙（左下）へ流れないように留意しましょう。
- ◎落款は自分の名と書を草書体で書いてください（罫線ありの場合は落款不要）。
- ◎「朝・並」は草書で書いてもよい。
- （朝）**船**（並）**笛**
- ◎野線ありの用紙で提出してもよい。

◎漢字は「許容される書き方」で書いています。
朝 船 鳴 笛

落款（○○書）も書体をあわせる。
 方向 方向